

9月の園だより

平成21年9月1日 発行 おばやし保育園



虫と友だち…

朝晩涼しさを感じるようになり、あんなに暑かった夏がもうすぐ終わることを教えています。また、コオロギやスズメシの鳴き声に、秋の訪れを感じるようになってきました。今までダンゴムシやアリ、カブトムシなど、たくさんの虫たちとのふれあいを楽しんできました。さまざまな虫たちとの出会いは、子どもたちの心のなかで、生命を大切にする気持ちをそっと育ててくれています。虫が大好きな子もちょっぴり苦手な子も、小さな生き物を見つめるやわらかなまなざしが印象的です。

みんなが主役の運動会

子どもたちは1日から運動会に向けて練習を開始します。太鼓、バルーン、お遊戯などそれぞれの年齢にあった種目を楽しみながら、毎日たくさん体を動かしたいと思います。火曜の全体練習の日は体操着・紅白帽を着用して登園してください。(すみれ組以上)

新型インフルエンザについて

新学期が始まり、新型インフルエンザの流行が懸念されます。登園したら必ず、大人は備え付けのアルコール除菌液で手を消毒し、お子さんはクラスでうがい・石鹸で手洗いを行ってください。(必ず、保護者の方がお手伝いしてください。)

早寝・早起き・朝ごはん

夏の疲れが出る頃です。まずは夜更かしを改めたいもの。大人の生活習慣にひきずられないよう、夜の8時から9時までには明かりを消して、静かな部屋で、寝る前に絵本の読み聞かせ...というのはいかがでしょう。規則正しい食事と睡眠-早寝・早起き・朝ごはん-を心がけてください。



9月の行事予定

- 1日(火) 運動会練習開始(*)
- 3日(水) 交通安全(横断歩道)
- 8日(火) 避難訓練(地震-全体練習前)
- 15日(火) 運動会予行Ⅰ
- 17日(木) おたんじょうかい
- 25日(金) 運動会全体練習
- 29日(火) 運動会予行Ⅱ

(*)火：全体練習

月・水・木・金：クラス別練習

10月3日(土) 運動会
(おばやし保育園にて)



運動会の練習 (すみれ組以上)

火曜日の全体練習の日は体操着・紅白帽を着用して登園してください。

新型インフルエンザへの対応

新型インフルエンザに対するおばやし保育園の対応につきましては随時お手紙やホームページ(モバイル版)でご案内します。(モバイル版ホームページアドレス⇒)



9月生まれのおともだち

おたんじょうびおめでとう

- 5日 しまだ たまき ちゃん(6さい)
- 6日 いわの るな ちゃん(5さい)
- 13日 しのはら りな ちゃん(6さい)
- 16日 いいつか こうき くん(5さい)
- 24日 おおつか ももか ちゃん(4さい)
- 24日 はせがわ ゆあ ちゃん(3さい)
- 24日 すぎた せいり ちゃん(3さい)
- 26日 きし かえで ちゃん(3さい)
- 26日 きし みくと くん(5さい)
- 27日 みずさわ ここみ ちゃん(3さい)

9月の目標	
ヒヨコ	・音楽に合わせて踊ったり、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
ウサギ	・戸外でのびのびと体を動かし、いろいろな運動遊びを楽しむ。
すみれ	・運動会の練習に楽しんで参加しましょう。 ・お散歩に出かけ、秋探しをしましょう。
さくら	・運動会に向け友だちと協力し合って一緒に体を動かす楽しさを知る。 ・身近な自然に触れ、夏から秋へと移り変わる季節の変化に興味や関心を持つ。
うめ	・運動会の練習を通して自分なりの目標を持ち最後までやり遂げた達成感を味わり向上心を養う。



運動能力を育てる、親子のエクササイズ

ドッキング体操からだを支える力をつける!
「アメンボじゃんけん」

子どもの能力を育むワンポイントコラム

子どもは「支持力」というからだを支える力が鍛えられます。でんぐり返しや逆立ちの基本となる力で、運動発達において非常に重要な要素です。転んだときに手で顔面を守るというケガ回避の能力にもつながります。また、この体操はおおぜいのペアで行っても盛り上がりやすい。自由に動きまわり、じゃんけんする相手を見つけましょう。

第6回 小学校へつなげる生活習慣 止まる・見る・待つ

夏休みも終わり、芋掘り、梨もどき、ぶどう狩りと、園外に出かける楽しい行事が予定されていることと思います。集団での歩き方は、いままでの園生活を通してわかっているか、それがかかりと身についているかどうかは別の問題のようです。歩きながら、道ばたの草花に気をとられて列から外れてしまったり、空き缶を見つけてけとばそうしたり、おしゃべりをしていて前からくる人や自転車にぶつかってしまったり、見られる子どもたちの姿です。

交通安全のモデルはご家庭にあるといわれています。横断歩道で信号が点滅し始め、本来なら止まらなければならないのに、お子さんを急がせて渡ろうとしたりしていませんか。また、おとな同士のおしゃべりや夢中になって、横断歩道をのんびり歩いたりしていませんか。このり渡ったりしていませんか。このようなおとなの姿は、子どもたちのマイナスモデルです。子どもは、おとなの行動を見ながら学び、子ども同士のとときに、その姿を再現していきます。点滅が始まり、急いで信号を渡ろうとして左折してきた車に巻き込まれて事故につながる事例が数多く報告されています。また、歩道と車道の段差もなく、白線だけで区分けされている道路で、友だちとふざけながら歩いたりしているうちに車道に飛び出してしまう、車とぶつかって事故になることもあります。

交通事故から身を守る基本は「止まる・見る・待つ」です。小学校入学に向けて、安全や歩き方について話し合いながら、「止まる・見る・待つ」を意識し、お子さんといっしょに通学路となる道を何度か歩いてみるのもよいでしょう。

